1.B.2.a.v 石油製品の供給（Distribution of Oil Products）（CO_2, CH_4）

１．排出・吸収源の概要

１.１ 排出・吸収源の対象及び温室効果ガス排出メカニズム

石油製品中に CO_2 及び CH_4 が溶存している場合に、石油製品の供給時に CO_2 及び CH_4 が漏出する。当該活動による CO_2 及び CH_4 の排出は、石油製品の組成を考慮するとほぼ無いと考えられるが、石油製品中の CO_2 及び CH_4 の溶存量の測定例が存在せず、2006 年 IPCC ガイドラインに排出係数のデフォルト値が示されていないことから、「NE」と報告する。

１.２ 排出・吸収トレンド及びその要因

記載事項なし。

２．排出・吸収量算定方法

記載事項なし。

３．算定方法の時系列変更・改善経緯

当該分野については、2005 年度の検討において、石油製品中の CO_2 及び CH_4 の溶存量の測定例が存在せず、1996 年改訂 IPCC ガイドライン及び Good Practice Guidance（2000）に排出係数のデフォルト値が示されていないことから、「NE」と報告する方針が決定され、初期割当量の報告以降一貫して「NE」と報告している。